上毛新聞
朝夕刊合共八頁

電力國家統制案を陸軍も絶對支持

政府具体化を急ぐ

政務官詮衡は首相一任に

廣田首相の意向

川崎商相快方

駐日土耳古大使信任狀捧呈

二十三日宮中に參内

二・二六事件に關聯陸軍要路異動

二十三日發令さる

織名古屋帶から單八寸に轉織せよ

桐生統制會の意見

三毛中將

廿三日飛旋

海軍經理學校卒業式

桐生社會事業委員會

宮城村國防婦人會

群馬村の新村民に花嫁家族の渡滿

高崎驛、希望の門出

八並辯護人の熱辯

新選擧法の精神强調

子供の喧嘩に等しと片付け

生方氏無罪を叫ぶ

總長宮殿下は抂げて御留任

寺内陸相謹話

侍從武官長に宇佐見中將

廿三日親補式行はる

非常時の英斷

宇佐見中將　越用の事情

控訴院長會議

司法事務革新を協議

協議題目

新町青年團

高職も屋根から落ちる

遂に絶命す

千代田生命

昨年度剩餘金より九割二分に當る千百四十九萬餘圓を加入者配當準備金に繰入れましたので、配當準備金總額は二千六百八十六萬餘圓に達し配當資源は豐富となつてゐます。

毎年配當附保險の加入者に對して本年は年額保險料百圓に付左の通り配當致します。

明治四十四年度契約	百三圓五十錢
大正元年以前の加入者は保險料の拂込を要せず、保險料を超過したる配當額を會社より現金にて差上げることになりました。	百八圓
大正元年度契約	百十二圓五十錢
大正二年度契約	九圓
大正三年度契約	百三圓五十錢
大正四年度契約	百八圓
大正五年度契約	百十二圓五十錢
大正六年度契約	九圓
大正七年度契約	百三圓五十錢
大正八年度契約	百八圓
大正九年度契約（最低）四圓五十錢	
大正十年度契約	百三圓五十錢
大正十一年度契約	百八圓
大正十二年度契約	百十二圓五十錢
大正十三年度契約	九圓
大正十四年度契約	百三圓五十錢
大正十五年度契約	百八圓
昭和元年度契約	百十二圓五十錢
昭和二年度契約	九圓
昭和三年度契約	百三圓五十錢
昭和四年度契約	百八圓
昭和五年度契約	百十二圓五十錢
昭和六年度契約	九圓
昭和七年度契約	百三圓五十錢
昭和八年度契約	百八圓
昭和九年度契約（最低）四圓五十錢	

（即ち新過年數一ケ年毎に四圓五十錢を增し

千代田生命の成績

昨年の成績

創業以來三十二年、急がず、休まず、堅實なる歩調を以て常に前進を續けて居ります。昭和十年度に於ても左の通り、極めて優秀なる成績を擧げました。

□新　契　約	三億千百餘萬圓
□契約純增加	二億千百餘萬圓
□年末現在契約	十五億二千六百餘萬圓
□年末資産	二億三千二百餘萬圓
□保險金支拂高	千三百六十萬餘圓
□加入者配當金支拂高	九百九十五萬餘圓
□剩餘金	千二百四十九萬餘圓

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。